

◇教区仏教婦人会連盟支援活動報告

去る十月二十四日から二十五日にかけて教区仏教婦人会連盟執行部が宮城県名取市の仮設住宅を訪問し、東日本大震災で被災し避難生活を送る方々に、連盟単位の会の協力で集めた富山県産の新米をお届けした。

この支援活動は、津波により壊滅的な被害を受けた名取市閑上地区にお住まいだった方が避難生活を送る愛島東部仮設住宅、箱塚桜仮設住宅を対象に、教区仏教独自の活動として行われているもので今年で四回目。二十四日早朝、執行部五人と事務局一名の計六名で高岡教務所を出発、公用車にて宮城県名取市へ。

初日は名取市最大規模の仮設住宅群である愛島東部仮設住宅に向かい、五キロごとに小分けされた富山県産の新米を、執行部が一軒一軒訪問してお届けした。

すでに四度目の訪問ということもあり、執行部の姿を見て「毎年、遠い所からわざわざありがとうございます」と声掛けに来られる方や、「お米は何よりありがたいです」と涙される方もおられた。

その後、集会所で交流会を催し、富山県から持ってきた茶菓子をお茶うけに、交流を深めた。

愛島東部仮設住宅は現在九十三世帯がお住まいであるが、家を建てて引っ越しされる人も多く、仮設住宅内で出来上がったコミュニティやつながりがバラバラになってしまふという問題も話の中で何度も挙げられ、「この交流会だけが仮設暮らしで唯一の楽しみ、でも友達が出来ても一度、仮設を出て行ってしまふと縁が切れてしまふ」と寂しさを吐露される方も。

二日目は六十三世帯がお住まいの箱塚桜仮設を訪問、お米をお配りした後は、東北教区ボランティアセンター主催の茶話会に同席し、交流を深めた。

「五年半経つてようやくあの時のことが話せるように

なった」と前置きしてお話しされたある方は「あの時避難警報が出て、みんな避難したんだけど、しばらくは何も起きなかつたので、多くの人が家に荷物を取りに帰ってしまった。私は足が悪かつたので避難所に残っていたから助かったけれど、友人知人はほとんど死んで、残った私も家族も病気で仮設住宅から出られない状況になつてしまつて、助かつて良かったんだか悪かつたんだか・・・そんな思いが頭をグルグル回っていて、一人きりになる夜が怖いです」と思いを述べられた。

お話を伺うと、この箱塚桜仮設は年度末にかけてほとんどの人が引っ越し予定で、残るのは十人程度になるそうである。愛島東部・箱塚桜とも帰りの見送りの際には、名残惜し気にいつまでも手を振っておられる姿が印象的であった。



◇仏青連盟結成五〇周年記念の集いに二十三名が参加

～伝灯奉告法要協賛～

十月九日、仏青連盟結成五十周年記念の集いが西本願寺で開催され、全国から六〇〇名を超える参加があった。高岡教区仏教青年



会(福田慶隆会長)では、

今回、五十周年記念の集いが専如ご門主の伝灯奉告法要の翌日に開催されることから、前日の法要に参拝しようとして、一泊二日の日程で計画し参加を募集した所、二十三名の参加があった。

八日午前高岡教務所を出発し、午後二時から行われる伝灯奉告法要に団体で参拝した。法要では、本願寺御影堂と阿弥陀堂の両堂同時でお勤めが行われ「正信偈」読経中に阿弥陀堂におられたご門主様が御影堂に、御影

堂におられた前門様が阿弥陀堂へとご転座(移動)した。その後、伝灯のつどいが行われご門主夫妻と敬さまのインタビューと花束贈呈が行われた。つどい終了後、飛雲閣・書院を拝観し、宿泊場所であるお宿「いしちよう」へ移動し、午後六時より、夕食懇親会を行なった。初めて顔を合わせる方もいたが、終始和やかな中懇親会が進み、終了後は各自自由行動で部屋に残ったり、夜の京都を散策したりと楽しんだ。

翌日の五〇周年記念の集いは、開会式・記念講演が御影堂で行われ、大会実行委員長である松本光生中央委員長(高岡教区)が、ご門主様に感謝の言葉と花束を贈った。続いて、ネパール開教地のソナム・ワンディ・ブテイヤ開教事務所長の記念講演が行われた。終了後、記念行事が聞法会館と北境内地休憩施設で行われ、各教区がブースを出展した。高岡教区は、縁日として、射的・輪投げ・ストライクナインを出展。高得点者にはドラえもんグッズや高岡のお土産を景品として渡した。また、仏婦・仏壮・少年連盟やスカウトの各団体の出展協力やナムナムガールズのコンサート、龍谷大学の大学院実践真宗科の有志が立ち上げた、『ともしえ』による影絵が同時刻に行われ、参加者は、聞法会館や北境内地休憩施設それぞれの会場に足を運んだ。盛大な中、午後六時半に終了した。

近年、仏青活動の参加者が減少していく中、あらゆる世代に声をかけた今回の『つどい』は、仏青活動を活性化したい各教区の仏青にとって、良いきっかけになったのではないかと。高岡教区としても活性化のためにこれから何ができるか考えていく必要がある。

◇高岡教区仏教壮年会連盟代表者伝灯奉告法要参拝

去る十月二十二日、高岡教区仏教壮年会連盟代表者七名が全国

各地からの参拝団とともに御影堂にて伝灯奉告法要に参拝した。

厳かな雰囲気のか、ご門主様の御導師により「奉讃伝灯作法」がお勤まりになり、阿弥陀堂・御影堂に読経の音が響いた。

また、法要後、全国仏壮連盟会員による懇親会が京都リーガロイヤルホテルにて行われ、全国の各仏壮連盟より持ち寄った地酒にて会員同士の親睦を図った。

平成28年度 教区賦課金(後期分)納入について

5月当初にお知らせ致しました告知書の通り今年度の教区賦課金(後期分)の納入期限は12月24日(土)午前中迄となっています。できるだけ早期の納入をお願い致します。



高岡会館報恩講お初夜「親鸞聖人を語る夕べ」

期 日 11月25日(金)午後7時～9時

※午後6時より「うどん」のお齋があります

内 容 第1部 音楽法要(宗祖讃仰作法)

第2部 ご講演

テーマ「今どきの若者」とみ教え—宗教教育の現場から—

ご講師 鷺森昭見氏(高岡龍谷高校教諭・氷見西組浄善寺住職)

(詳しくは同封のチラシをご覧ください。)

西本願寺高岡会館 報恩講法要のご案内

○下記の通り高岡会館の報恩講を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日 時：11月26日(土) 日中—午前10時・逮夜—午後1時半

布 教：池内 瑞雄 師(射水市中央町圓徳寺住職)

講 題：『願いのもとを聞く』

※お昼にお齋(お弁当)を準備しております。午前・午後あわせてお参りください。

☆高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります☆

○お電話（０７６６－２２－０８８７）で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の高島までご連絡ください。

法語カレンダー・・・１５０円　ほのぼのカレンダー・・・１５０円
月々のことば・・・７００円　心に響くことば・・・１２０円

▽第３回寺院女性会連盟研修会のお知らせ▽

「沢 知恵 弾き語りコンサート」

日 時：12月3日（土）午後1時　　開場

午後1時30分　開会

会 場：西本願寺高岡会館1F 礼拝堂

参加費：1,500円（チケットは各組寺院女性会連盟役員へお尋ねください。）

☆宗会議員選挙について☆

来る12月中に、宗会議員の任期満了（僧侶：12月8日（木）、門徒：12月11日（日））を迎えるにあたり、総選挙が実施されます。

すでに、僧侶宗会議員の任期満了に伴う総選挙を、2016（平成28）12月11日（日）に施行し、その立候補受付日を2016（平成28）年11月26日（土）とする旨の宗告が發布されましたので、お知らせいたします。

つきましては、西本願寺高岡会館1階礼拝堂にて、11月15日（火）午後3時より立候補予定者事前説明会を開催いたします。

現在、門徒宗会議員の任期満了に伴う総選挙については、宗告が發布されておりませんので具体的な日程は宗告が發布されてから、組長を通じご連絡させていただきます。

ご不明な点がございましたら、地方選挙管理委員会（高岡教区教務所）までお問い合わせください。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

浄土真宗と民主主義

政務活動費の不正受給問題で十二人が辞職した富山市議会議員の問題は、日本国内だけでなく世界でもニュースとして取り上げられ、大きく注目されました。様々な紆余曲折を経て、今月六日、補欠選挙が行われましたが、あれだけ大きな問題を露呈し、県内外を問わず大きな論議を巻き起こした事件にも関わらず、蓋を開けてみれば「投票率二十七%弱」「辞職者が一番多かった最大会派の過半数維持」という、全く盛り上がりがない結果で終わってしまいました。報道では「候補者が多く誰に投票していいか分からなかったのでは?」「政治不信から投票しなかった人も多かった」との分析がなされていますが、なんにせよ消化不良の感はないでしょうか。私自身は今回の選挙の投票権を持っていませんし「他所さまの事とやかく言う」のは憚られる事ではありませんが、この問題の質を考えたときに「果たしてこのままでいいのか?」という大きな疑念が残りました。既に議員から「政活費問題は一区切りついた」との声が出ているのを聞くと、なおさらの思いです。

今回の富山市の問題だけではなく、国内の様々な選挙でも、また米国大統領選やイギリスのEU離脱などを見ても、様々な場面でこの「政治不信」が大きな流れを作っている様な気がします。特に日本の場合には「政治IIお上(カミ)」という捉え方が根強く、これまで複雑で厄介な問題には「触らぬカミに祟り無し」、結果「おまかせ民主主義(当事者でなんとかしてくれ)」が横行し、例えば先の補欠選挙

の様な事を繰り返している様なイメージがあります。しかしこれでは、「有権者の意識低下↓政治の劣化↓政治不信」という負の連鎖は避けがたいことでしょう。

先日、他教区の知人から「自教区だけでなく全国的にも宗会選挙への関心が全く高まっていない」という話しを聞きました。理由を聞くと「四年前の宗法改定によって宗会議員の役割や権限が低下し、地元での存在意義が薄まった。それと同時に、教団の重要課題への共有感、参画意識も希薄化している」との答えでした。確かに、「第十回宗勢基本調査」を見れば、新体制移行に対して大半(五七%)が「よくわからない」という受け止めであり、知人の言う通りなのかとも思いました。

一方、同じ「第十回宗勢基本調査」にある「宗門への期待」では、「人々の苦悩に応える(四八%)」「社会の動きに対応(三五%)」「現代に対応する教学の確立(二八%)」が要望されていますが、これらへの具体的取り組みは、まさに政治課題です。この様な重要課題が、ある日、突然、お上によつて解決される訳はありません。やはり私たち一人ひとりの課題認識と運動への参画、そして選挙を始めとした政治への意識を持ち続ける、ということが重要なのだと思われまます。

お釈迦様の時代、出家者の共同体「サンガ」は既に、社会的平等、資源の共有、民主的プロセスを有していたと聞きます。私たちにとっては、まさに「御同朋の社会をめざす」ということなのだと思います。

【高岡教区教区主幹 浜野信宏】

◇これからの日程（11/15～12/23）◇

11月	教区・財団行事	教化団体・組行事
15	僧侶宗会議員立候補予定者事前説明会 音楽習礼	
16	特別委員会	
17		仏婦執行部会
20		福光教堂報恩講（～21）
21	聖典セミナー	
22		いろは塾
24	音楽習礼	
25	親鸞聖人を語る夕べ	
26	会館報恩講 僧侶宗会議員立候補者締切	
30		長寿苑ビハーラ活動 コーラス（夜）
12月		
3		寺院女性会研修会
5	団参組担当者会議	仏婦常任会・単位会長会議
7		講社連盟もち米進納 雨晴苑ビハーラ活動
8		仏壮理事会
11	寺青実践研修会	
13		コーラス（昼）
14	常例法座	
19	組長会	
20	連研のための研修会	
23		ほとけの子どものつどい （福光教堂） 予定

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25
□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎11/26（土）：高田 篤敬氏

（本願寺派布教使・岐阜県蓮教寺住職）

「未 定」

□11/27（日）：未 定

（富山教区）

◎12/3（土）：池田 惠俊氏

（滋賀県長安寺住職）

「未 定」

◎12/10（土）：池田 惠俊氏

（滋賀県長安寺住職）

「未 定」

□12/11（日）：未 定

（高岡教区）

◎12/17（土）：池田 惠俊氏

（滋賀県長安寺住職）

「未 定」

◎12/24（土）：池田 惠俊氏

（滋賀県長安寺住職）

「未 定」

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。
一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（175袋）8,300円

・大箱（36袋）2,300円

・1組（10袋）500円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel.(050) 5587-7708(代表)

Fax.(0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館12月の常例法座】

ご講師：杉 谷 淳 志 氏

（高岡教区川上組瑞泉寺）

ご講題：「「分別」ってどう読みますか？」

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。